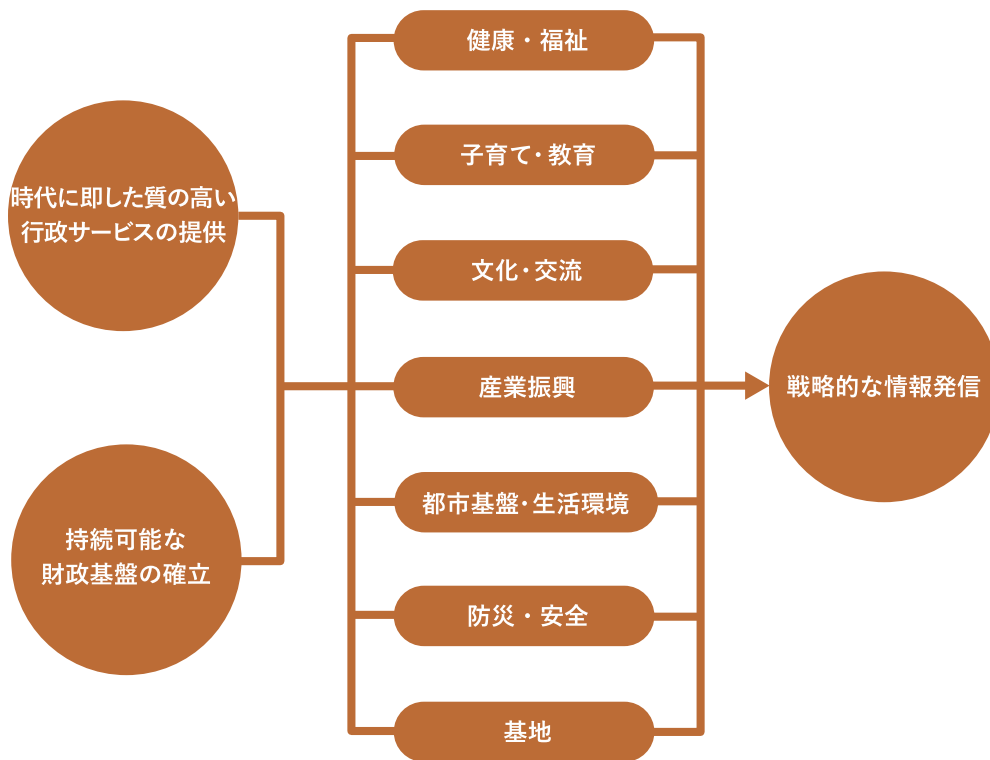


全体を支えるための体制づくり

行財政



7つの分野の各施策を円滑に実施するため、行政が中心となり、戦略的な情報発信や質の高い行政サービス、持続可能な財政運営の3つの施策を展開していきます。

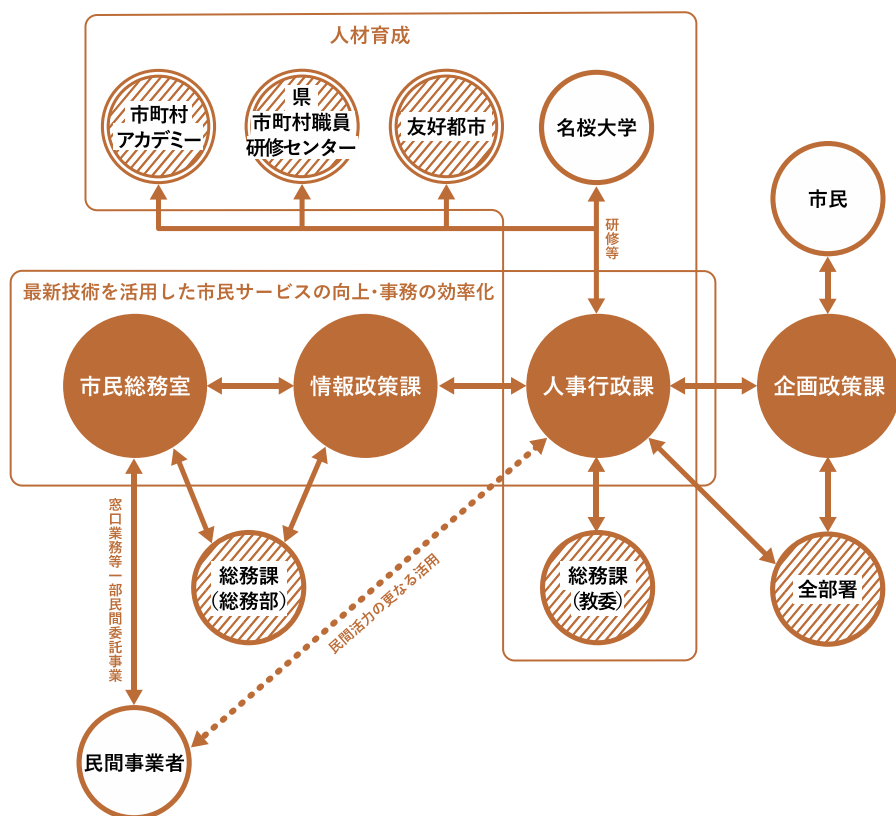
戦略的な情報発信については、「住みたい」「訪れたい」というまちの魅力を高め、県内外に積極的にPRするため、行政と市民、関係機関等が連携・協働し、各分野における名護市の強みを活かして取組みます。

一. 時代に即した質の高い行政サービスの提供

厳しい財政状況の中、今後ますます多様化・高度化する市民ニーズや新たな行政課題に的確に対応するためには、効率的・効果的で質の高い行政サービスの提供を図る必要があります。

行政が担うべき役割の重点化を図り、徹底した事務事業の見直し・改善と実質的な効果を踏まえた政策の立案、最新技術を活用した市民サービスの向上に努めるとともに、「民間にできることは民間に委ねる」ことを基本とした民間活力の活用の推進を図ります。

また、簡素で効率的な組織体制の構築を図るとともに、各種研修制度の充実を図り、職員一人ひとりの資質の向上に努めます。



主な取組み

- 1 行政が担うべき役割の重点化と民間活力の活用
- 2 最新技術を活用した市民サービスの向上と事務の効率化
- 3 時代の変化に対応可能な人材の育成
- 4 簡素で効率的な組織体制の構築



主な関連計画

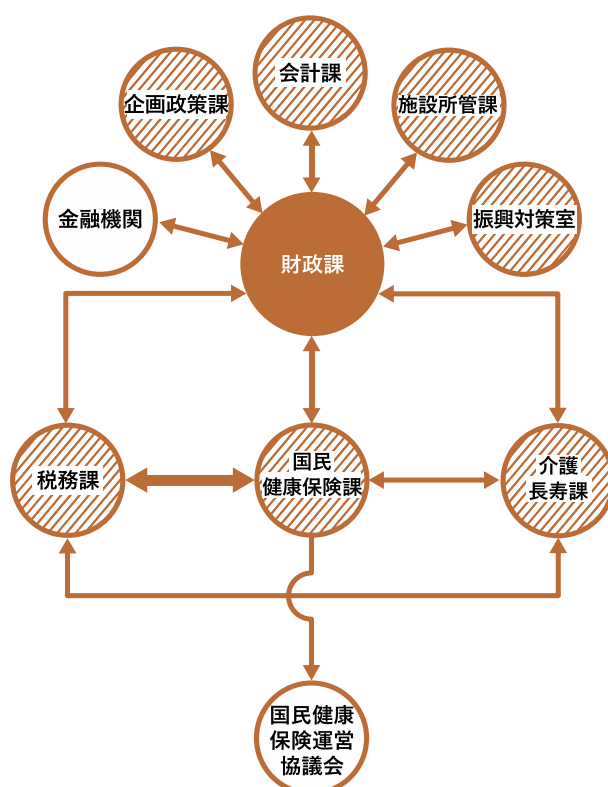
- ・ 名護市公共施設等総合管理計画
- ・ 名護市職員育成基本方針

一. 持続可能な財政基盤の確立

生産年齢人口の減少による税収入等の減少や高齢化の進行による社会保障費の増大、老朽化した公共施設の維持管理・更新費の確保など、今後ますます厳しい財政状況が予想されます。

そのため、中長期的な財政推計を踏まえた財政運営や新たな予算編成手法の構築など、財政運営の健全性の確保を図るとともに、経費の節減や事務事業の見直しの徹底などによる歳出の削減を図ります。また、企業誘致及びそれに伴う雇用の創出を図り、市税等の適正な賦課や滞納整理の徹底などにより、歳入の確保・増加に努めます。

公共施設等については、計画的な保全による長寿命化の推進や適正配置、効果的・効率的な管理運営と資産活用などを図ります。



主な取組み

- 1 財政運営の健全性の確保
- 2 歳出削減への取組み
- 3 歳入確保への取組み
- 4 公共施設等の適切な管理



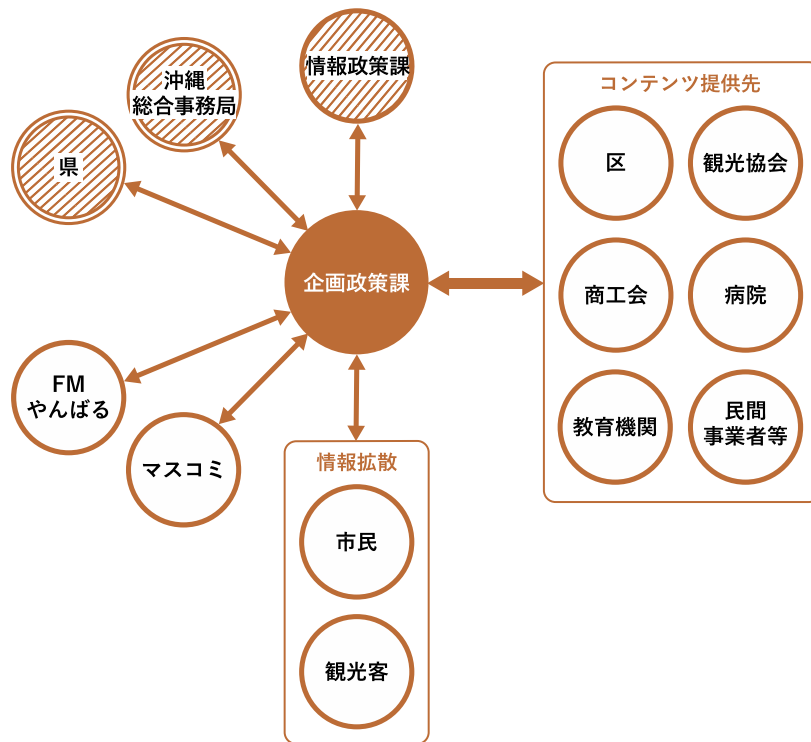
主な関連計画

- ・ 名護市中期財政計画
- ・ 名護市公共施設等総合管理計画
- ・ あけみお福祉プラン

一. 戦略的な情報発信

名護市が「選ばれるまち」となるよう、市民や関係機関等と連携・協働し、「新しい時代の小さな世界都市」として、名護市の魅力を積極的にPRしていきます。発信した情報を世界へ確実に届けるため、従来の広報誌や市ホームページのみならず、SNS などあらゆるツールや手法を用いた戦略的な情報発信を行います。

また、協働のまちづくりを推進するにあたっては、市民との市政情報の共有化が前提となります。市民のひろば等の紙媒体では、市民に読みやすく、親しまれる紙面づくりに取り組むとともに、市ホームページ等のウェブサイトでは、アクセシビリティ*1_についても配慮して、市政情報を迅速に分かりやすく発信していきます。



*1_アクセシビリティとは、高齢者や障がい者なども含めたあらゆる人がウェブで提供されている情報や機能を支障なく利用できること。

*2_シティプロモーションとは、地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと。



主な取組み

- 1 シティプロモーション*2_の推進
- 2 "伝わる"情報発信



主な関連計画

- ・ 名護市電子自治体推進計画